

9月是世界アルツハイマー月間です ～誰もが安心して暮らせる地域を目指して～

▷問い合わせ 地域包括支援センター（福祉課内）（☎223-3581）

世界アルツハイマー月間に合わせて、
認知症の支援を紹介します。



認知症支援

これって単なる物忘れ？それとも認知症？

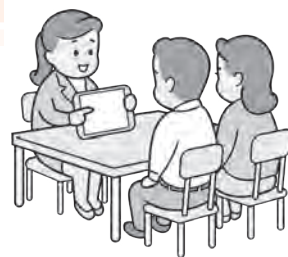
認知症は、さまざまな脳の病気によって記憶力や判断力などが低下して、日常生活に支障が出ている状態をいいます。単なる「加齢による物忘れ」と区別がつきにくく、発見が遅れてしまうことがあります。



「もしかして…」と思ったら、一人で悩まず相談を

早期発見は、症状の進行を遅らせることや、必要な介護サービスを利用するための第一歩です。自分自身や家族のことで少しでも不安を感じたら、すぐに相談してください。

- ・身近な相談先：かかりつけ医、地域包括支援センター
- ・専門的な支援：認知症初期集中支援チーム、若年性認知症サポートセンター（福岡県）



もしもの時に備える「見守りサポート」

家族の負担を減らし、安心・安全を守るための助成制度などがあります。

●GPS 端末機等導入費用助成

GPS 端末機やスマートタグの購入、レンタルに要する費用を助成します。

▷助成額 上限1万円

令和8年度
開始！！



GPS 端末機等導入
費用助成事業

●認知症高齢者等見守りシール交付

アイロンで衣類に貼れるシールを交付します。



●はいかい高齢者等SOSネットワークシステム登録

折尾警察署や遠賀郡4町・中間市の関係機関などが連携し、行方不明になった人を速やかに保護します。

地域の温かい目になりませんか？「認知症サポーター養成講座」

特別な活動をする必要はなく、正しい知識を持って「自分のできる範囲で見守る」のが認知症サポーターの役割です。あなたのちょっとした気遣いが、認知症の人やその家族の大きな支えになります。

受講を希望する人は、町の出前講座を利用してください。



すくすく育て
あしやっ子
NO.200

がまんも必要？
こどもの成長に必要な「忍耐力」

▽問い合わせ 社会教育係
(☎223・3546)



子育てをしていると「うちの子は、すぐに諦めてしまう」、「思いどおりにならないと、すぐに投げ出してしまう」というような悩みを感じることはありませんか？

こどもが成長していく中で大切な力の一つに「忍耐力」があります。困難な状況でも諦めず、目標に向かって粘り強く取り組む力のことです。この力は生まれ持った性格ではなく、さまざまな経験することによって育まれていきます。ここでは、家庭でできる忍耐力を育む方法を紹介します。

①感情を受け止める 「忍耐」と聞くと、こどもの感情を抑えるといった印象を持つかもしれません。自分の感情との向き合い方を学び、感情的に落ち着く方法を身に付けさせるには、まず身近な大人に感情を受け止めてもらうことが必要です。ほかに、絵本を読みながら登場人物の感情について想像さ

せたり、親子で話し合ったりすることによって、感情に対する理解が深まり、自分の感情とうまく付き合っていけるようになります。

②感謝の気持ちを伝える 忍耐力をつかさどる脳の部分は、思いやりを持つことで活性化するといわれています。手伝いをしたときや、人のために何かをしたときに感謝をさせているこどもは、人の役に立つ喜びを知っています。この心が、約束を守ったり我慢したりするための土台となっていきます。

③ルールや条件のあるゲームをする たとえば「カードゲーム」や「ボードゲーム」では自分の順番が来るまでは、待たなければなりません。また、「だるまさんが転んだ」のように、自分の動きを止めるといった遊びもルールに基づいて自分の行動を制約しています。このように遊びの中でルールを守るということも、自然と忍耐力を育むことにつながります。

忍耐力は、短期間で身に付くものではありません。毎日の小さな成功体験の積み重ねと、家族の温かい励まし、こどもの「やればできる」という自信につながります。家庭での何気ない関わりが、将来さまざまな困難に立ち向かう力を育む、大切な土台となるでしょう。

リーど通信 No. 62

▽問い合わせ
ボランティア活動センター
(☎221・1011)

リーどぼらんていあキッズ大集合！
今年も活動がスタートしました



ボランティア活動センターでは、こどもたちの社会性や思いやりの心を育むことを目的に、「リーどぼらんていあキッズ事業」を行っています。

今年度は町内の小学1～6年生22人が参加し、6月13日に活動結成式・保護者説明会を開催しました。初めて顔を合わせるこどもたちは少し緊張した様子でしたが、自己紹介やオリエンテーションを通して、これから始まる活動への期待を膨らませています。



△結成式の様子



△モノレール工場見学の様子

7月22日の研修会では、北九州モノレール車両整備工場を見学しました。環境に優しい乗り物であるモノレールの仕組みや、安全運行を支える整備の仕事について学び、こどもたちは興味深く見学していました。

今年度は全7回の活動を予定しています。さまざまな体験を重ねながら、2月の活動報告会に向けて成長していくキッズたちを、温かく見守っていただければ幸いです。